

大会事務局及び総務部注意事項

【1】団体受付

- ・団体の代表者 1 名は①10:00~11:00、②13:00~13:30の間に受付を済ませてください。
その際に、プログラム(参加者人数+1部)をお受取りください。
- ・入館の際には、一般社団法人日本バトン協会 2017 年度ワッペン・参加賞兼通行証のトワラーバッヂ付きリボンを左腕に着装してください。トワラーバッヂ付きリボンは1月中旬を目安に団体へ発送いたします。
- ・参加人数の変更(減少のみ)がある場合、受付にて申し出てください。増員は認められません。

【2】入場券について

- ・入場券は10:20から当日の販売もいたします。体育館の外にある入場券売り場をご利用ください。
尚、入場券は無くなり次第販売を終了します。
- ・1チームにつき1枚の入場券を進呈いたします。後日送らせていただきます。

【3】傷害保険について

- ・出演者全員を対象に傷害保険に加入致しますが、団体ごとに保険に加入して頂きますようお願いいたします。大会中、事故などにより負傷された場合には、救護室においでください。但し病気は対象外となります。

【4】貴重品、その他の持ち物については各団体で管理してください。

【5】記念写真については、(株)フォトライフに依頼しております。演技終了後、指定された場所で業者の指示に従ってください。

【6】録音利用明細書を新規で提出したチームは団体受付の時に代金をお支払いください。1曲216円です。おつりのないようお願いいたします。

【7】出店について

- ・会場ロビーにてバトン用品などの販売を予定しています。

【8】自然災害等の影響に伴う事前連絡について

- ・大雪や地震などによる自然災害について、大会の開催が難しいと思われる場合のみ、前日1月27日(土)18:00にHPにて大会中止のお知らせをアップいたします。

【9】その他

- ・会場へはできるだけ公共の交通機関をご利用ください。
- ・大会期間中の電話による問合せや呼出はできません。緊急の場合は関東支部事務局・伊藤(080-9420-3503)までおかけください。
- ・会場利用については体育館職員及び実行委員の指示にご協力ください。

演出部注意事項

【1】開会式について

- ・出演者の整列はありません。

【2】舞台でのウォーミングアップについて

- ・10:30から使用できますが、バトンは使用禁止です。

【3】ウォーミングアップエリアについて

- ・ウォーミングアップエリアには3セット前より入れます。出演者はウォーミングアップエリア入口でチェックインを済ませてください。
- ・セット番号1番～3番の団体は11:10よりウォーミングアップエリアに入れます。係員の指示に従い、開会式はその場に座って待機してください。

【4】音響について

- ・チームの代表者1名は、セット番号3団体前までに音響席までお越しください。市販のCD利用の団体は使用するCDを持参してください。どちらも演技タイトル後にスタート及びストップの合図を行ってください。

【5】演技フロア入退場について

- ・演技フロアには審査員から見て左側より「それでは入場してください」のアナウンスで入場し、右側より退場してください。
- ・入場付近・退場口には係員がついて誘導しますが、基本的には各団体ですみやかにお願いします。
- ・引率者は入場口より入場し、フロア正面の引率者席で演技を見ることができます。(会場案内図・フロア図参照)
- ・入門・初級クラスは、退場口付近でフラッシュカードをご覧ください。

【6】表彰式・閉会式について

- ・すべての演技が終わりましたら、代表者2名は、フロア上の各チーム名が書いてある用紙の後ろに整列してください。(コスチューム着用 ジャンパー可)

・自団体でプラカードの用意は必要ありません。

- ・表彰は各チーム、金・銀・銅の成績が発表され、コンテスト部門は賞状とリボンが、フェスティバル部門は賞状が授与されます。
- 発表の際、チーム名が呼ばれたらその場にお立ちください。係員が誘導します。
- ・表彰式後そのまま閉会式となります。

【7】その他

- ・この会場のロビーは絨毯敷きのため、衣装や髪の毛、メイクのラメの使用は厳禁とします。ラメ使用の団体は厳重注意としますのでご了承ください。

表彰式・閉会式整列図

正面

☆入門 ジュニア15団体 ☆入門 中学校3団体

☆初級 ジュニア9団体 ☆初級 中学校4団体 ☆初級 高等学校6団体

☆中級 ジュニア3団体 ☆中級 シニア1団体 ☆中級 中学校9団体

☆中級 高等学校13団体

☆上級 ジュニア2団体 ☆上級 高等学校2団体 ☆フェスティバル部門 2団体

審査部注意事項

- 【1】演技時間内に出場出来なかった団体は、棄権とみなします。
- 【2】審査は、音楽の第一音より最終音までの演技とします。
- 【3】審査用紙は、閉会式終了後にお渡しいたします。団体代表者はフロアの音響席隣にてお受取りください。
- 【4】コンテスト部門の成績は次の通りです。
 - (1) 100点法
 - (2) 入門～最上級 85点以上→ 金賞
 70点以上→ 銀賞
 70点未満→ 銅賞

内容は実施要項にも記載されていますが、関東バトントワーリングコンテスト演技内容の手引きに準じた各級の演技内容の評価として採点し、金・銀・銅の成績をつけます。(審査員の平均点)

※ 級のレベルの過不足については全体的効果・実施を加味して審査されます。

※ 入門・初級クラスは、演技終了後各審査員がフラッシュカードにて判定します。表彰式において最終成績を発表をします。

- 【5】フェスティバル部門については、採点・講評は行いません。
- 【6】特別賞として、以下の賞を授与します。
 - (1) 横浜市長賞
 - (2) 理事長賞
 - (3) パフォーマンス賞
 - (4) ノードロップ賞
 - (5) ベストドレッサー賞

会 場 部 注 意 事 項

- 【1】 会場への入館は、出演者10:00、一般観客10:50からとなります。
※再入場の際は半券が必要です。
- 【2】 出演者会場出入りは、別添会場案内図・フロア図に記載の出演者出入口を使用してください。
出演者出入口以外からの出入りは絶対に行わないでください。
大会開催中の出入り際には必ず左腕に一般社団法人日本バトン協会 2017年度ワッペンと参加賞兼通行証のトワラーバッジ付きリボンを着装してください。
- 【3】 更衣室・出演者席は、別添会場案内図・フロア図、座席配置図をご参照ください。
荷物は出演者席まで持っていき、各団体で管理してください。
- 【4】 演技フロア内のウォーミングアップエリア以外での練習は、一切禁止とします。
特に、大会会場の正面及び周辺での練習は厳禁とします。
- 【5】 出演者はコスチュームのままでの外出は厳禁とします。
- 【6】 更衣室以外での着替えは禁止です。
- 【7】 メイクは正面階段下（1階）の左右トイレ前でも可能です。（ラメ使用禁止）
- 【8】 出演者は1階のトイレをご利用ください。
- 【9】 ビデオ撮影については、事前に申し込まれた団体のみ、指定のビデオ席で撮影してください。
出演5チーム前に3階席入口にて受付しゼッケンを受取り係員の指示に従ってください。
（座席配置図参照）
- 【10】 客席での飲食は可能ですが、体育館内にゴミ箱は一切有りませんので、ゴミは各自で必ずお持ち帰りください。
- 【11】 閉会式終了後は速やかに退館ください。

会場内での写真・ビデオの撮影及びカメラ・ビデオの持ち込みは、大会が許可した者以外は禁止とします。また、写真・ビデオ機能の付いた携帯電話の撮影も固くお断りいたします。万一、違反行為発見の場合はデータを確認の上、機材を大会事務局にて大会終了まで一時預かりとします。

携帯電話を使用なさる際（メールを含む）は通路やロビーでお願いします。

客席内では使用しないでください。

※ 各団体にて関係者・保護者各位に伝達徹底をお願いいたしますと共に、何卒ご協力の程
お願いいたします。

参加団体各位

第31回関東バトントワーリングチームコンテスト
実行委員長 内田圭子

第31回関東バトントワーリングチームコンテスト
「危機管理について」

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

貴団体におかれましては、平素より当支部の活動に対しましてご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、当支部では災害時等に際し、万全を尽くし、以下の対応をさせていただきます。参加団体及びご来場の皆様には十分ご留意いただくと共に、ご理解、ご協力をお願い申し上げます

敬具

1. 大会開催前に災害等が発生した場合は、横浜市及び横浜文化体育館と協議の上、大会を中止にさせていただきます場合があります。ご了承ください。

2. 大会開催中の避難対応について

◎緊急時に備えて非常口の確認をお願い致します。

《地震速報が発令した場合》

・横浜文化体育館より館内放送が入ります。慌てず大会実行委員の指示に従うようお願いいたします。

《地震発生》

・地震の規模にもよりますが、状況を確認しますので、その場で待機し、今後の指示に従って下さい。

《避難経路》

◎大会実行委員の指示に従い第1次避難場所（体育館正面広場）へ避難してください。

・フロア・一般席・選手席（2階）・ロビー（2階）ステージ→非常口より、あわてずに避難。

・出演者・ホワイエ（3階）→柵を乗り越え2階扉から非常口へ避難。

《状況確認》

・第1次避難場所にて（体育館正面広場）状況確認を行います。

・状況により、第2次避難場所（吉田中学校）または広域避難場所（横浜スタジアム）へ避難。

3. インフルエンザ対応について

◎行政、会場の関係機関から自粛要請が無い限りコンテストを開催いたします。

◎活動休止措置をとられている参加団体・参加者は、本大会への参加自粛をお願い致します。

当支部としても十分な危機管理体制で運営出来るよう努めさせていただきます。災害時には実行委員の指示に従い、行動していただきますようお願い致します。

日本バトン協会関東支部

緊急対策

危機管理・緊急対応・防火管理担当

1 目的

日本バトン協会関東支部主催の大会等における会場管理の安全を期し、以て不測の事態による人的災害を最小限にするために、以下の緊急時対策をとる。

2 予防体制

- (1) 各担当者は、ポジション内の整理について特に注意し、不必要なものは置かないようにする。
- (2) 入場開始1時間前に、実行委員及び係員全員で、非常口・消火器所在などの会場内事情を確認するとともに不審物、危険物の有無の点検を徹底的に行う。多少でも疑わしきものがあつた場合には、大会本部に各担当責任者を通じ連絡すること。
- (3) 開会30分前に再度確認する。
- (4) AED設置場所を確認するとともに、使用方法を確認する。

3 緊急事態発生の場合

(1) 火災発生の場合

- ①火災発生の発見者は、直ちに周囲に火災発生を知らせるとともに、初期消火体制、避難誘導等の消防活動を状況に応じて指示し、臨席の消防官・警察官に通報し、また、各担当者に連絡する。
- ②各担当責任者は、大会本部に通報し、大会本部は直ちに119番通報を行う。
- ③消防または警察の指示は各担当が受け、本部に連絡する。
- ④初期消火については、会場内所定の消火器の操作要領を各担当責任者が関係係員に確認しておく。
- ⑤来場者の避難誘導については、大会本部からの連絡（放送）により、来場者を混乱させることなく、あらかじめ定めた通路を使って誘導を行う。
- ⑥安全防護措置として、危険物等の活動障害物の移動または除去等を行う。
- ⑦消防隊の活動が効果的に行われるよう、消防隊指揮本部と連絡を取り、積極的な情報提供を行う。

(2) 地震の場合

- ①来場者に対して、まず冷静に対処することを放送・ハンドマイクなどで呼びかけ、本部の状況判断を待ち避難を要する場合は各出入口を使って館外に誘導を行う。
- ②誘導にあたっては、各担当責任者・臨席の消防官・警察官および警備会社の指示を受ける。

(3) けが人・病人が発生の場合

- ①倒れた人を発見した場合、すぐに意識確認をする。意識がなければ、すぐに応援を呼び、救急車を要請して、その後、本部に連絡する。必要に応じ、AEDを使用する。
- ②けが人・病人が発生した場合には、各担当者を通じて大会本部に通報し、その指示を受け、救護係員の到着を待つ。必要がある場合は大会本部より救急車の出動を要請する。
- ③発熱・嘔吐の場合、処置に十分気をつけ、2次感染がないように配慮する。
- ④倒れている人、けが人、病人等のプライバシーを配慮する。
- ⑤救護所は、救護室に設置する。

(4) 不審者の場合

- ①関係者かどうかの確認をし、本部に連絡し、警備会社、開催会場とともにその対処にあたる。

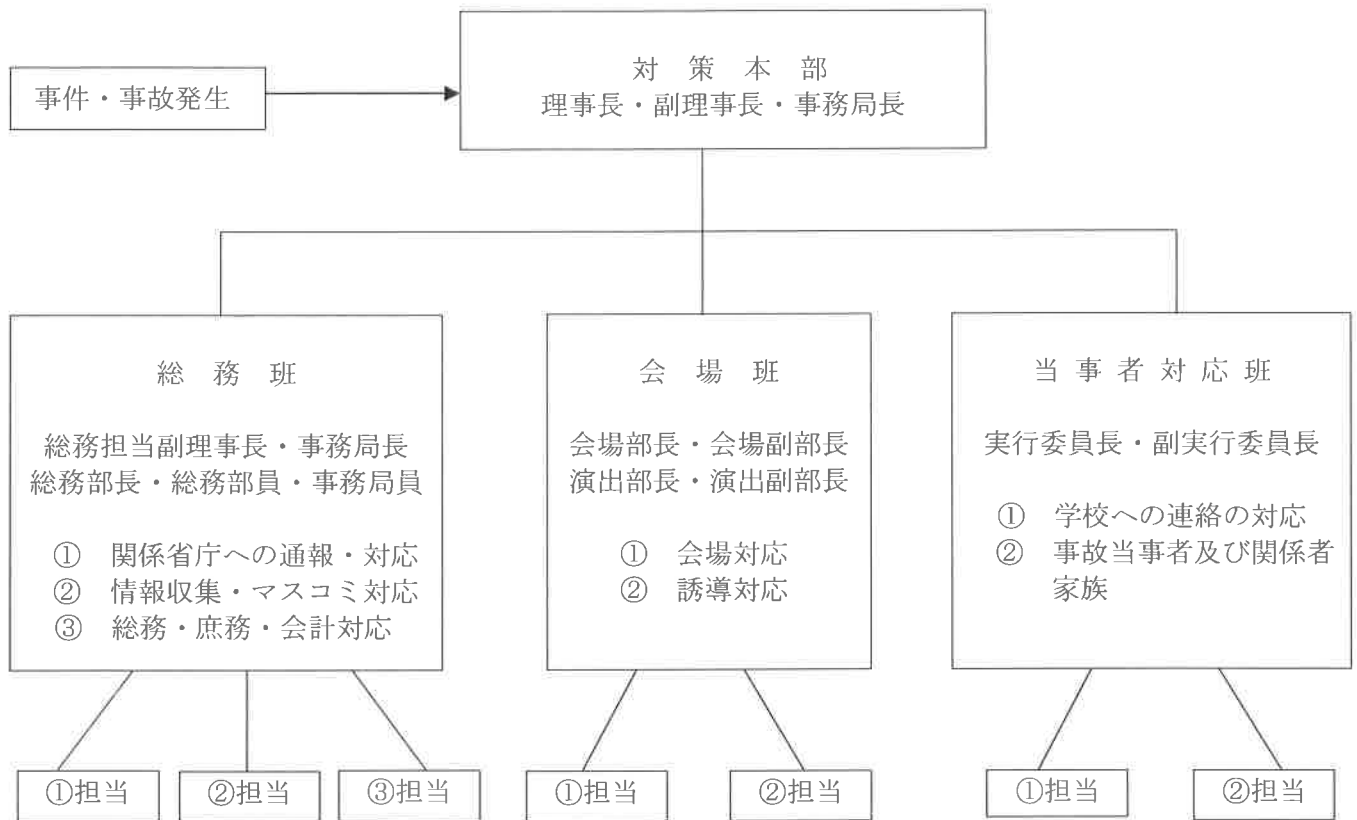
(5) 不測の事態の場合

- ①不審物、危険物設置等の予告のあつた場合、自荷物の確認をし、不審物、危険物の確認を行うとともに、その対処にあたる。

(6) 対策本部の設置

- ①別表の通り、対策本部を設置する。

関東支部緊急時対策組織表



1. 理事長は事件・事故発生後、必要に応じて速やかに対策本部を設置する。
2. 理事長は本部に常駐し、全体の指揮を統括するとともに協会本部・当該都県組織への連絡を担当する。
3. 事務局長は本部に常駐し、理事長を補佐する。
4. 各班のスタッフは指定された場所で待機し、指示があつてから活動を開始すること。
5. 当組織表は、関東支部が主催する全ての大会に対応するものとする。